取り扱い説明書

この取り扱い説明書を必ずよくお読みになってから、お子様に使用させてください。製品に関するご質問は、販売店にお問い合わせください。

警告：保護者の方が組み立ててください。
警告：満 4 歳未満のお子様は使用しないでください。

EN 71

0-3

索引

安全警告. 3
Space Scooter™について. 7
組み立て方と開き方. 8
　開き方. 8
　Space Scooter™の折り畳み方. 11
　保管する時の折り畳み方. 11
乗り方. 13
　キックスクーターとして乗るとき. 13
　Space Scooter™として乗るとき. 13
点検とお手入れ. 14
　クランプカラーを点検する. 14
　タイヤと軸受けを点検する. 14
　クイックリリースを点検する. 14
　はずみ車を点検し、玉軸受け油を注す. 16
Space Scooter™ のよくある質問. 17
　Space Scooter™が開きません。. 17
　デッキのグリップがはがれ落ちてしまいます。. 17
　チェーンが歯飛びしたり、外れたりしてしまいます。. 17
　Space Scooter™から異常な音がします。. 18
保証について. 18
著作権について. 19

安全警告

⚠ **保護者の方へ重要なお知らせ**:
この取り扱い説明書には大切な情報が含まれています。お子様の安全のために、責任をもってお子様と一緒にこの情報を読んで、すべての警告や説明、安全に関する情報を理解できるようにしてあげてください。 お子様のスクーターを安全に使用できるように、定期的にお子様とこの取扱い説明書を読みかえすこと、またスクーターの点検やお手入れをしていただくことをお勧め致します。

⚠ **全般に適用する警告**:
スクーターに乗ることは時には危険なアクティビティになることがあります。スクーターは移動できるものですので、コントロールができなくなったり、もしくは倒れたりしてしまう危険な状況に陥ることがあります。その場合、大きな怪我や死亡事故につながってしまう恐れがあります。他の移動できる商品と同じように、スクーターを使用することは危険なアクティビティでもあり、安全注意を守っていても、怪我や死亡事故につながってしまう可能性があります。必ず責任を持って、常識的に使用してください。

⚠ **警告**:
緩衝器の空気バネには高圧空気がつまっています。それを分解したり、壊したり、火の中にいれたりしないでください。空気バネが爆発する可能性があります。

- 必ずヘルメットやひざ当て、ひじ当てなどの安全防具をつけてください。スクーターに乗るときは必ずヘルメットを被り、あごひもをちゃんと締めてください。
- 必ず靴を履いてください。
- 車通りが少ない滑らかな、舗装された道路で使用してください。
- 鋭い凸凹や排水溝の蓋、急な地面の変化は避けてください。スクーターが急に止まってしまうことがあります。
- 車道や水、砂利、泥、落ち葉、がれきなどがある場所では使用しないでください。雨の日に使用するとひっぱったりブレーキする力が弱まったり、視界が悪くなります。
- 夜に使用しないでください。
- 続けて使用するとブレーキが熱くなります。ブレーキをした後は触らないでください。
- 下り坂ではスピードを出しすぎないでください。
- 保護者の方はお子様が初めてスクーターを使用する際に、スクーターの広げ方、ハンドルやステアリングの高さの調整、スクーターの折り畳み方の補助を必ずしてあげてください。
- 現地の道路交通法や規則に必ず従ってください。
- 歩行者に注意してください。
- 合計の体重が 80 kg以上になる方はスクーターに乗らないでください。
- 8 歳未満のお子様には使用させないでください。14 歳未満のお子様が使用する場合は、必ず保護者の目が届くところで使用させてください。すべての 13 歳未満のお子様は、必ず保護者の指導の下で使用してください。
- 使用者の体重は、必ずしもお子様のサイズがスクーターに乗ったりコントロールしたりするのに適している、という意味ではありません。
- 保護者の方がお子様の成長度合や能力から判断して、お子様にこの商品を使用させるかどうかを許可してください。
- 使用者は周りに注意を払い、急ブレーキや急回転をしないでください。自分がスクーターから落ちたり、また自分自身や他の人をケガさせる可能性につながります。

⚠ *認証された安全ヘルメットなどの安全防具をお子様が身につけているか、必ず確認してください。*

ご使用の地域では道路交通法や規則によってヘルメットの着用が義務付けられていることがあります。お子様に必ず靴を履かせ、裸足やサンダルでは使用させないでください。靴紐はしっかりと結び、車輪から遠ざけてください。

⚠ *一般常識から外れる使い方や上記の警告を無視すると、深刻な怪我を招く危険性が増えます。必ず自分で責任を持って、細心の注意を払って、安全に使用してください。*

⚠ ***警告:使用する前にいつもスクーターの点検をしてください。***

適切に点検やお手入れをすることで怪我をするリスクを減らします。スクーターに乗る前に必ず点検をして、定期的にお手入れをしてください。

⚠ **警告：*現地の道路交通法を確認してください。***

現地の道路交通法や規則を確認し、どこでどのようにスクーターを法律に沿って使用できるかを確認してください。場所によっては、スクーターに乗る際にヘルメットを着けることを義務づけられています。ヘルメットの着用やスクーターの乗り方に関する現地の法律や規則を確認してください。

Space Scooter™について

本体を箱から取り出してください。 箱の中身のペイントに輸送中についた引っかき傷および/または凹みがないかを調べてください。Space Scooter™が工場で組み立てられ、梱包されているので、箱にいくつかの引っ掻き傷や凹みがあっても、大きな問題はありません。

キック

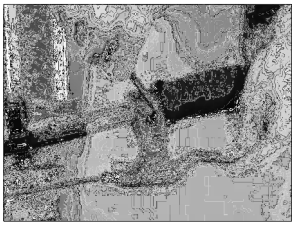
ライド

フォルディング

⚠ **警告**: *他社の部品を Space Scooter™に使用しないでください。*Space Scooter™は確かなデザイン仕様で組立られています。販売時に付属してるオリジナルの部品は、フレームやフォーク、すべての部品への互換性があるものです。特定の後付け部品は合わない可能性があります。

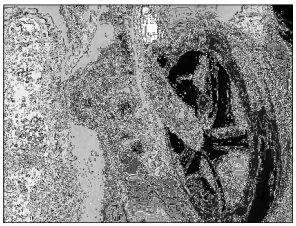
組み立て方と開き方

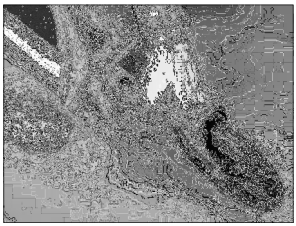
ブレーキハンドルを締め付けます。



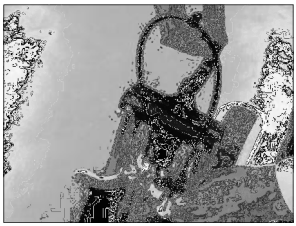
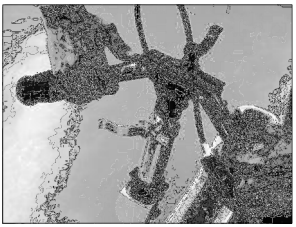
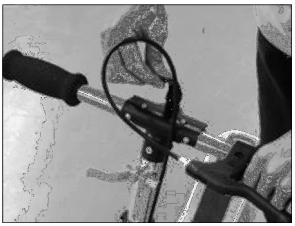
⚠ **注意：** *ブレーキハンドルのネジは工場で梱包される前に締められていません；スクーターを使用する前に必ずブレーキハンドルのネジを締めてください。ブレーキハンドルを適切な位置に調整し、内部六角棒スパナで固定してください。*

開き方

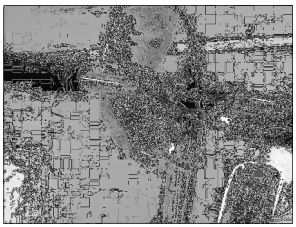


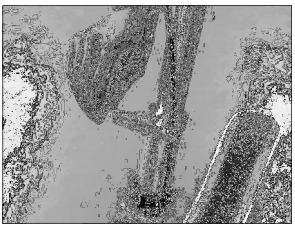


1. フォルダーの右側にあるクイックリリースでフォルダーを緩めてください。
2. 開錠ボタン"フォルディング"(A)を押してヘッドパイプをロック解除し、ステアリングパイプを安全に固定できる正しい位置にまで持ち上げてください。ステアリングパイプを少し揺らし、バネ付きロックピンが正しい位置に固定してください。
3. フォルダーの右側にあるクイックリリースを締めてフォルダーを固定してください。

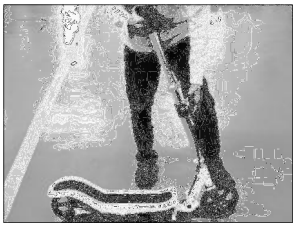
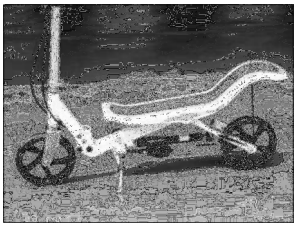
4. T 字管の上端にあるクイックリリースを開きます。
5. 左右のハンドルをバネ付きボタンを押しながら T 字管に差し込み、固定してください。両方のハンドルが正しくバネ付きボタンで T 字バーの中で固定されているかを確認してください。
6. クイックリリースでしっかりとハンドルを固定してください。





7. ハンドルの高さを調整するために：クイックリリースレバーを開いてください。
8. バネ付きボタンを押して T 字バーをお好みの位置にスライドさせ、バネ式ボタンが管の穴の中に固定されているかを確認してください。
9. クイックリリースが固定されてた位置にあるか、もう一度確認してください。

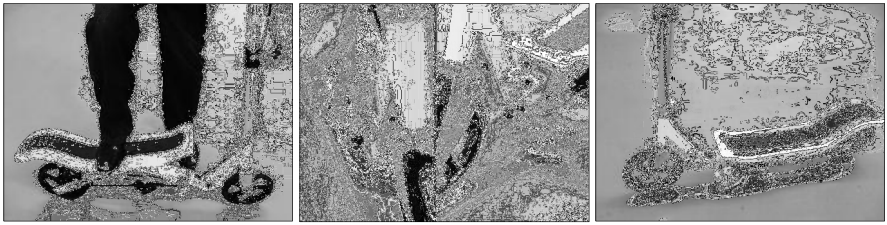
⚠ **警告**: *クイックリリースのレバーを正しく固定していないと、T 字管が上もしくは下にずれ動いてしまい、使用している時にコントロールができなくなり、倒れてしまうかもしれません。*

10. デッキを開くために、前輪を足もしくは他のもので止めてください。
11. ステアリングパイプを左手で持って、折りたたみ引き金を右手で引っ張ってください。それと同時にステアリングパイプを前に少し引っ張って、後輪を地面から離してください。デッキがゆっくりと開きます。デッキが正しい位置にきたら、折りたたみ引き金が下ります。デッキはこの位置で固定されます。

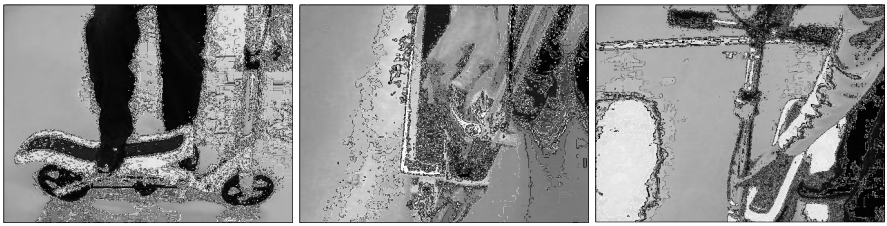
⚠ *もしデッキが通常通りに開かない場合は、デッキの前端を引っ張ると、デッキを開くことができます。*

Space Scooter™の折り畳み方



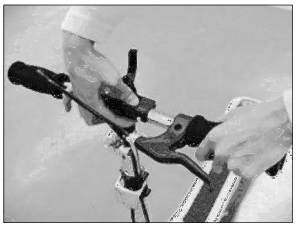
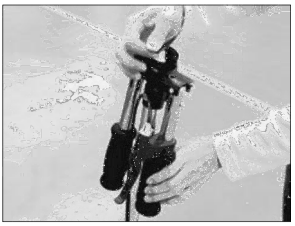
1. デッキを折りたたみます:
   (デッキを水平な場所に置かないと前端が上に曲がります。)
   ステアリングパイプを左手で持って、折りたたみ引き金をもう片方の手で引っ張り、空気バネのバルブを開いてください。それと同時に、デッキを踏んで平らな状態になるまで押し下げてください。
2. ステアリングパイプを調整します: ステアリングパイプを「キック」モードに調整するためには、開錠ボタン「ライド」(B)を押してヘッドパイプを開錠し、「キックスクーター」の位置でしっかりと固定されるまでステアリングパイプをもっと上に持ち上げてください。

保管する時の折り畳み方

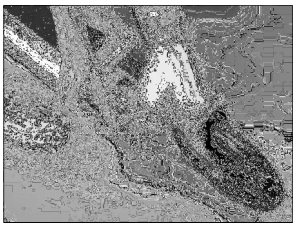


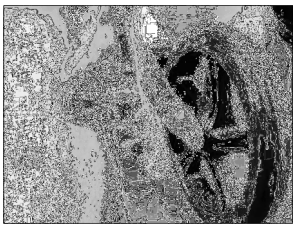
1. デッキを折りたたみます:
   (デッキを水平な場所に置かないと前端が上に曲がります。)
   ステアリングパイプを左手で持って、折りたたみ引き金をもう片方の手で引っ張って、空気バネのバルブを開いてください。それと同時に、デッキを踏んで平らな状態になるまでおしさげてください。
2. ステアリングパイプを折りたたむために : ステアリングパイプのクイックリリースを開いて、バネ付きボタンを押してステアリングパイプの上部を押し下げます。バネ式ボタンロックを下のステ

アリングパイプ下部の穴に入れ、クイックリリースを閉じます。

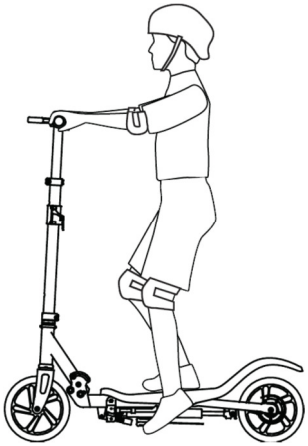
3. ハンドルを折りたたみます: T 字管上部のクイックリリースを開き、ハンドルにあるバネ付きボタンを押しながら、T 字管からハンドルを引き出します。





4. ヘッドパイプを折りたたみます:
フォルダーの右側にあるクイックリリースを開きます。開錠ボタン「ライド」(B)を押してヘッドパイプをロック解除し、ステアリングパイプをまっすぐな位置でしっかりと固定されるまで押し下げます。そしてフォルダーの右側にあるクイックリリースを閉じてフォルダーを固定します。

乗り方

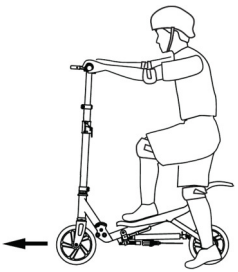


キックスクーターとして乗る場合

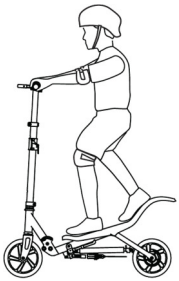
ハンドルを両手で握ります。片足をデッキに乗せ、もう片方の足で地面を蹴って前へ進めます。よりコーナリングをしやすくするために、曲がる方向に少し傾いてください。安全に停止するために、ブレーキハンドルを軽く握ってスクーターの速度を落としてください。ブレーキハンドルを急に握らないでください。周りに人がいる所でスクーターを使用し始める前に、障害物がない開けた場所で、色々なスピードでブレーキをかける練習をすることをお勧めします。

Space Scooter™として乗る場合

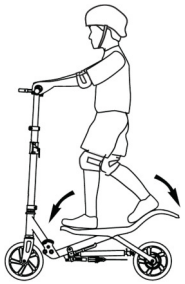
ハンドルを両手で握ります。片足をデッキの前端に置き、もう片方の足で地面を蹴ってスクーターを前に進めます。それから両足でデッキの上に立って、左右の足で交互にデッキ揺らして、スクーターを前に動かすことができます。よりコーナリングをしやすくするために、曲がる方向に少し傾いてください。安全に停止するために、ブレーキハンドルを軽く握ってスクーターの速度を落としてください。ブレーキハンドルを急に握らないでください。周りに人がいる所でスクーターを使用し始める前に、障害物がない開けた場所で、色々なスピードでブレーキをかける練習をすることをお勧めします。



(1)



(2)



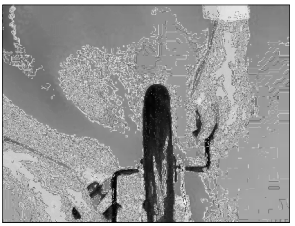
(3)

点検とお手入れ

クランプカラーを点検する

5mm の六角レンチを使ってクランプカラーのボルトがしっかり締まっているかを点検してください。この部品は工場できつく締められ、品質を検査されていますが、輸送の段階や取扱い方によって若干ボルトが緩んでいる可能性があるかもしれません。

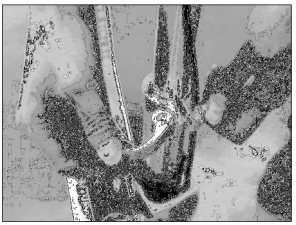
⚠ **警告**: *正しくクランプカラーを固定していないと、スクーターを使用しているときにステアリングパイプがコントロールできなくなり、大怪我や死亡事故につながる恐れがあります。*



⚠ タイヤとベアリングを点検する

通常の状況ではタイヤとタイヤのベアリングはお手入れする必要がありません。それでも、使用者もしくは保護者の方が定期的にタイヤが摩耗していないか、車軸がしっかりと締められているか、ベアリングが左右に動くか、緩んだ部品がないか、などを責任を持って確認してください。
タイヤもしくはタイヤのベアリングが緩んできたときは、それは使いすぎている印ですので、交換する必要があります。

クイックリリースを点検する



使用する前にすべてのクイックリリースを確認してください; 必ずすべてのクイックリリースが閉じて、締められていることを確認してください。クイックリリースを以下のように調整してください:

1. クイックリリースのハンドルを開きます。
2. クイックリリースのナットを調整します。
3. クイックリリースのハンドルを閉じます。

もし合わない場合は、もう一度お試しください。

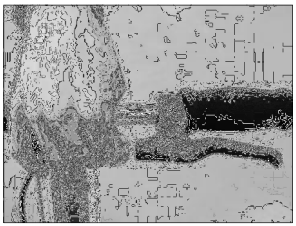
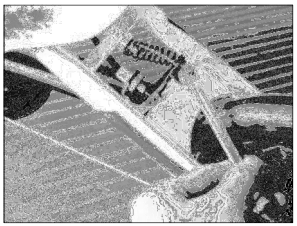
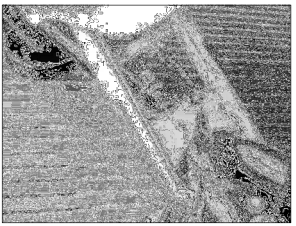
ブレーキケーブルを調整する

以下のステップに従って、使用する前にブレーキを確認してください:
ブレーキハンドルを握ってスクーターを前に押してください。後輪が回転しなければ、スクーターは前に進みません。ブレーキハンドルを開くと、スクーターは簡単に前へ押すことができます。もしブレーキが利かない場合は、使用する前に調整するかメンテナンスをしてください。
ちょっと調整:ブレーキハンドルのネジをブレーキケーブルを緩める、もしくはきつく締めることで調整します。

大きな調整:

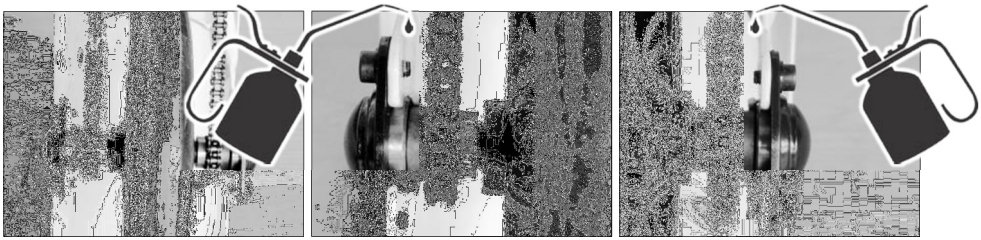
1. ブレーキケーブルのナットを緩めます。
2. ブレーキケーブルをラジオペンチで適当な場所まで引っ張ります。
3. ケーブルのナットを締めます。

⚠ **警告:** *ブレーキに不具合があると、スクータのスピードをコントロールできなくなり、それによって大怪我や死亡事故につながる恐れがあります。*

はずみ車を点検し、玉軸受油を注す

スクーターを使用する前にはずみ車を点検し、異常な音が聞こえないかを確認してください。もし異常な音が聞こえた場合はスクーターの底が上に向くように持ち上げ、はずみ車とベアリングの隙間の 3～5 か所に玉軸受油を注して、1 分ほど待って軸受油をはずみ車に染み込ませます。異常な音がなくなってからも、毎月軸受油を注すことで商品がスムーズなまま、長持ちさせることができます。



Space Scooter™に関するよくある質問

Space Scooter™が開きません。

まずは取扱説明書を十分に良く読んで、Space Scooter™がどのような仕組みになっているかご理解ください。

a) もし確かに正しい方法で開いている場合、後輪のブレーキがタイヤに押し付けられていないか確認してください。もしその場合、サイズ 8 のレンチでナットを緩め、ケーブル/ブレーキにもう少しスペースを開けてください。その後、もう一度ナットを締めてください。
b) もしそれでも問題がある場合は、E メールで当社のヘルプデスク (info@spacescooter-japan.jp)までお問い合わせください。

デッキのグリップがはがれ落ちてしまいます。

恐れ入りますが、問題の状況がわかるような説明をつけて、当社のヘルプデスク (info@spacescooter-japan.jp)までご連絡ください。新しいグリップステッカーをお送り致します。

グリップステッカーの取り換え方：

a) 既存のステッカーをはがします。爪を使って簡単にはがすことができます。丁寧にステッカーをはがしてください。
b) デッキ板がきれいか（油分が残ってないか）確認してください。
c) 新しいステッカーを台紙からはがしていきます。四角い端から始めて、数cmずつはがしてください。（これは Space Scooter™の前方に貼ります）
d) ステッカーの四角い端をデッキ板にまっすぐおきます。ステッカーの台紙を少しずつはがしていき、一方でステッカーをデッキに擦って張っていきます。貼っている間に空気が中に入らないようにしてください。

チェーンが歯飛びしたり、外れたりしてしまいます。

恐れ入りますが、問題の状況がわかるような説明をつけて、E メールで (info@spacescooter-japan.jp.)までご連絡ください。チェーンを留めておくスプリングが伸びてしまっているかもしれません。

チェーンスプリングの交換の仕方

a) ギアからチェーンを外してください。(外し方は www.spacescooter-japan.jp にあるワークショップマニュアルをご参照ください。)
b) 前方のスプリングを止めている六角ボルトを緩めます。
c) 反対側のスプリングを止めている六角ボルトを緩めます。

d) 新しいスプリングを入れて、逆の順番（c→b→a）で固定してください。

Space Scooter™から異常な音がします。

Space Scooter™はバイクと同じようにメンテナンスが必要です。 www.spacescooter-japan.jp でメンテナンス方法をご確認いただけます。お役に立つ情報が載っています。

(a) チェーンはチェーンスプレーを使ってお手入れをします。これは乾式潤滑といい、チェーンにゴミが入らないようにするためのものです; バイクショップやホームセンターなどで購入することができます。防錆潤滑剤 WD-40 かシリコンスプレーをお勧めします。もしチェーンが錆びてきた場合は、防錆潤滑剤 WD-40 でチェーンを掃除することができ、完全に乾かしてからチェーンスプレーで潤滑油を注してください。

(b) 玉軸受は玉軸受グリースを塗ってください。このためには後輪を解体しなければなりません。ベアリングからグリースを取り除くために防錆潤滑剤 WD-40 は使用しないでください。欠陥につながる恐れがあります。

(c) Space Scooter™のすべての部品がしっかりと固定されているかを定期的に点検してください。デッキの下にあるキャップが振動によって緩んでしまう可能性があります。そのため、定期的にすべての部品があるべき場所でしっかりと固定されているかを確認することが大切です。Space Scooter™に最大限の注意を払っていますが、振動などによって部品が緩んでしまうことは避けられません。Loctite®などを使ってネジをしっかりと締めるようにしてください。

保証

メーカーでは製造上の理由から商品に欠陥がでた場合、お買い上げの日から 24 か月間保証致します。この限定保証は通常の摩耗や破損、正しくない組み立てやメンテナンス、保管によって発生した故障や紛失などはカバーしていません。
この限定保証は下記の場合は無効となります:

- レクレーション以外の使い方をした場合。

無断複写、転載を禁止します。

- 何らか改造された場合。
- 借りた場合。
- スペーススクーター専用部品以外で修理した場合。

メーカーは、直接または間接的にこの商品の使い方による、偶発的もしくは間接的な損害に対して責任を負いません。

メーカーは保証を延長することは致しません。もし延長保証を購入されている場合は、商品をお買い上げになった販売店にてお引き受けします。控えのために、商品をお買い上げの際のレシートとこの取扱い説明書を保管してください。

著作権

この取扱い説明書を Easy2.Company B.V.に無断で複写、使用、複製することを禁止します。

ヨーロッパ独占輸入業者及び専用実施権者:
Easy2.Company B.V.
電話番号: +31 (0)72-850 26 01
ウェブサイト: http://spacescooter-japan.jp/
E メールアドレス: info@spacescooter-japan.jp